

機械輸出組合の 海外環境関連情報誌『Environment Update』(Vol.8 Noa1)発行

上記組合、環境・安全 G の許可を得て、臭素系難燃剤に関連する情報をピックアップする。なお本誌の 年間購読希望の方は、 <http://www.jmcti.org/publication/environment.php3> へ。

今月号の主要な記事は、

WEEE/RoHS、REACH、EuP 最新動向

欧州環境規制動向

2006.4.28 付 EU 官報 L115

RoHS 指令除外追加項目一覧表

WEEE マ - キング規格 EN 50419

英国 RoHS 施行ガイダンス文章 (仮訳)

モニタリング

欧州・連載 欧州環境規制動向 (在ブラッセル弁護士情報)

米国・連載 米国における環境関連動向 (在米コンサルタント情報)

中国【25】廃電気電子機器処理の現状および立法化への関心

その他

である。

上記のうち、臭素系難燃剤関連情報のみピックアップする。

1. RoHS 除外追加項目一覧表 (第1～5次コンサルテーション)

適用除外申請項目(参照： http://europa.eu.int/comm/environment/waste/)				除外決定済 (2006.4.28 現在)
1 st コンサルテーション (13 項目)	2nd パッケージ	1	Deca-BDE	Deca-BDE in polymeric applications

上記のように、6 頁にわたって、適用除外申請項目および除外決定済 情報が掲載されている。なお、関連情報として <http://www.bsef-japan.com/index/> の

RoHS 指令 最新 (2006.5) の除外規定情報

安井先生のHPより 『RoHS 指令と材料開発』

EBFRIP (06.6.06) の VECAP 第一回報告

を参照してください。

2. 在ブラッセル弁護士モニタリング情報

スウェーデン

1. EU、スウェーデンのDeca-BDEの一部使用禁止に対して異議申し立て

臭素系難燃剤 Deca-BDE の一部用途を禁止するスウェーデンの計画は、欧州委員会と英国の異議申し立てに直面し、フランスもこの動きを支持している。

スウェーデンは、2006年3月23日までに、自動車および電気・電子機器への用途以外のDeca-BDE使用を禁止する旨の提案書を修正あるいは撤回しなければならない。欧州委員会および英国は、詳細な意見書を発行し、スウェーデンの規制計画への異議申し立ての理由を述べている。フランスは、これに対する支持を表明した。仮にスウェーデンが計画変更か撤回をしない場合は、欧州委員会は法的な手続きを開始できる。

主要な反対理由は、EU加盟諸国の主導者として、フランスと英国が10年間かけて行ったEUリスクアセスメントの所見にスウェーデンの規制が逆行することである。(フランスは、人間の健康に及ぼす影響を調査し、英国は環境リスクを評価した)。このリスク・アセスメントは、危険物質指令(注、Regulation 793/93/EEC)に基づいて行われたもので、英国は、2006年5月の国内専門家会議に向けての準備として、自らの見解の見直しを行っているところである。

英国は、2004年5月に他のEU加盟国に対して、Deca-BDEには特定できるリスクはないという所見を提示し、これによりEUは、当難燃剤を規制しないことを決定した。英国は、担当委員会に対して、「リスクが特定できず、予防原則の適用は違法となる」旨の助言をしたが、同時に研究と監視の続行も勧告した。リスク・アセスメントプロセスに携わる監督委員会は、その代わりとして、工場排出規制のための業界の自主プログラム(注、VECAP)を認可した。

スウェーデンは、長期間(注、1990年より)この物質の欧州全域での禁止を求めているが、当時も上記決定に不満であり、フランスも当時はこの決定に不満であった。これは意外な印象を受けるかも知れないが、当時、フランスは当局が対策を講じるのは先延ばしにし、後にそれを公開した物質であるアスベストに、Deca-BDEをたとえていた。(注、アスベストには有害性、Deca-BDEにはそれが認められなかった)

欧州臭素系難燃剤工業会(EBFRIP)は、欧州委員会と英国の行動を明らかにする声明の中で、スウェーデンの計画を激しく攻撃した。「スウェーデンが提案しているDeca-BDE規制は、EUリスク・アセスメントの結論に矛盾するものであり、合意済の監視・排出削減計画を損なうものである。スウェーデンの提案は、また、欧州単一市場内の自由な物品の動きに、不当な障壁を設けるものである。」と述べている。

Deca-BDEを巡っては、意見が分かれている。2006年1月に、欧州委員会はコミトログジ - 手続きにより、Deca-BDEに関してRoHSの適用除外にしたが、その方法を巡り、欧州議会は訴訟手続きを開始した。(注、Deca-BDEは除外が決定しているが)一般的には、RoHS指令により、2006年7月1日から、特定の用途への免除が許可されない限り、EEE(電気・電子製品)への特定有害物質の使用が禁止されることになる。

(以上、JMC Environment Update より 抜粋)